

2 工 藝 部

2.1 業務概要

○ 垂水1号土と3号土を配合した透光性磁器を前後数回試験の結果利用価値を認める6種を得たので陰陽彫り電気の傘を試作して自信を得た。

○ 苗代川黒釉の原料は地元の朝日トンネル近くから出ていたベン10と土灰3.5の至つて簡単な泥漿配合である美しい苗代川黒が生れていたがそのベンは取りつくされ跡を絶っているこの旧ベンに代るべき神之川ベンの試験研究をした。

○ 竜門司の土瓶と茶碗の改良を目的に種々図案を描き頒布して試作指導に努めた結果良好な成績をおさめた。

○ 小、中、高校より染焼用築壇。焼成。成形。釉薬並に倒焰式単独窯。機械ロクロ据付等の設計図依頼があつたので作成の上送附した。

上記調合物は夫々粉碎して80メツシの篩に通し更に水ひの時は120メツシの篩を使用した。

尙上記素焼試作品に石灰石19。珪石25。長石43。蛙目13の透明釉を施しS.K.9~10番酸化焼成を行った。

2.2.2 題目 神ノ川ばんに真幸土と前田酸化鉄と配合した釉の試験

寺尾作次郎

〔目的〕朝日トンネルの近くに出ていたベン（釉料）が取りつくされたため現在黒釉を作ることに困難を生じているよつて旧ベンに代るべき試験。

番号 成分 及び結果	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
神ノ川バン	100	100	100	100	30	40
真幸黄土					40	40
前田酸化鉄		05	10	15		
雑木灰	35	40	40	40	30	20
還元焼成	S.K.9 1,280°C	同	同	同	同	同
呈色	青ソベ	緑黒色	赤褐色	鉄砂系	黒褐色	黒褐色
光沢度(釉)	良	最良	良	良	艶消状	艶消状
貫入有無	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
品位	乙	甲	甲	甲	甲	甲

上記調合釉を苗代川生地に施し焼成結果ホとへの真幸黄土を30に減し、バンの量を10づつ増加すれば釉の黒色度を深める。

尚ロ、ハ、ニの灰量を30に直せば釉は一層安定する。

次に福島長石30~40雑木灰30粒穀灰40~30の調合粒穀灰釉を上記ホとへの釉上に筒描き又は流し掛けして焼けば雅趣豊かな作品が得られる。

2.2.3 題目 龍門青粉釉の試験

寺尾作次郎

〔目的〕この釉料青粉は竜門司焼工場内に露出する軟質青色磐を粉碎したものでS.K9番にて完全に熔融し黒褐色の強い光沢を有す来待石や益子の芦沼石によく似ている。

〔概要〕青粉を主とせる釉の試験

2.2 試験研究

2.2.1 題目 垂水1号土と3号土調合透光磁器の試験

寺尾作次郎

〔目的〕新しく発見された垂水3号土配合鑄込用泥漿土及びロクロ成形用生地土を得るため

〔概要〕生地調合試験

番号 成分 及び結果	K 1	K 2	K 3	K 4	K 5	K 6
垂水1号土	40	40	30	40	40	30
垂水3号土	30	40	40	30	40	40
指宿ネバ	30	20	30			
土岐口蛙目				30	20	30
成形難易	易	易	易	易	易	易
素焼収縮	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
本焼収縮	1.7%	1.7%	1.7%	1.5%	1.5%	1.5%
呈色	灰乳白色	灰乳白色	灰乳白色	温白色	温白色	温白色
貫入有無	中	中	中	微細白 サツマ に適す	左同 幽に中	同 幽に中
品位	6位	4位	5位	1位	2位	3位
透明度 (器地)	6位	2位	5位	4位	1位	3位

番号 成分 及び結果	い	ろ	は	に	ほ	へ	と
青 粉	100	90	80	85	75	100	100
前田酸化鉄	05	10	15	05	10	10	15
雑 木 灰	10	15	20	10	15	30	40
還元焼成	S.K.9	同	同	同	同	S.K.8	S.K.8
呈 色	黒色に 鉄斑状	褐色に 黒混状	鉄砂 系	黒色 に鉄 斑状	赤褐色 流動垂 下	黒褐色	黒褐色
光沢度(釉)	良	良	良	良	良	良	良
品 位	乙	甲	甲	甲	乙	甲	甲

上記釉は変化に富み一見茶人好みの釉趣ではあるが応用の如何によれば逸品も得られよう

2, 3 技術指導並に講習会

- (イ) 苗代川で造られている水甕、甘酒半胴、壺類の肩に意匠として張り付けに用いている大小の黒、布袋、獅子頭、牡丹、菊花、雲形、葡萄等の土型は明治27、28年頃の作で当時の名工染浦泰京、上原熊次、川上孝官又は川崎齊二の作であまりにも使い古し図柄が判明しないまでに磨滅していたので32種の型を修正各工場に頒布したので当分明確な型物が出来る筈である。
- (ロ) 苗代川洗寿官工場において登窯焼成法指導

1. 追い込みと仕上火（あと火とも称す）の時の投薪操作は迅速に行う
 2. 最も大切な焰を如何窯内に長くとどめて焼成目的を果すか
 3. 還元焰及び酸化焰焼成に就いて
 4. 薪の乾燥状態と天候との関係
 5. 焙りは雑木。追い込みと仕上げ火の時は良材を使用
- 以上諸問題に就いて指導

- (リ) 竜門司焼工場の依頼に応じ土瓶36種同茶碗69種図案作成頒布試作指導
- (ロ) 小、中、高等学校12校に築爐、成形、釉薬等の指導
- (ハ) その他倒焰式単独窯。築焼窯。機械ロクロ据付等の依頼設計図作成7件
- (ニ) 講習会

本場において異色土組み合わせ弁慶鍋、市松、鴛手、花文等の成形手法並に装飾技法の講習会開催多大の感銘を与えた。

参加市内校12、出席者28教諭

- (ホ) その他

団体見学小、中、高等学校6校 438名

個人見学87名

試作品……468。築焼窯用台座12、同棚板65、同支柱93、さや鉢 428

大素焼3回、本焼3回、錦窯素焼4回